



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

デフアスリートによる国際スポーツ大会「デフリンピック」が
2025年、日本で初めて開催されます

一般財団法人全日本ろうあ連盟 / 東京都

制作者

多田 伊吹さん (筑波技術大学 産業技術学部 総合デザイン学科 4年)

制作趣旨

- 人々の繋がりを意味する「輪」をテーマとした。
- デザインでは、デフコミュニティの代表的なシンボルである「手」を表し、デフリンピックを通して競技と話題に触れ、互いの交流やコミュニティが「輪」のように繋がった先には、新たな未来の花が咲いていくことを表現。花は桜の花弁をモチーフとした。

①「手」

- デフコミュニティの代表的なシンボルである「手」を表現
- デフリンピックを通して、競技と話題に「触れて」欲しいという想いを込めた。

②「輪」

- デフリンピックに「触れた」ことで、少しずつお互いに交流やコミュニティが「輪」のように繋がっていくことを表現

③「花」

- 輪が広がった先には、「新たな未来の花が咲いていく」という意味を込めた。
- 桜の花弁をモチーフ

④「色」

- 世界中から沢山人々が集まる大会なので、赤・黄・青・緑の色で多様性を表現

